



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：協力し 笑顔あふれる あかいつ子◆ さくらだいこくん



命を守る大切な訓練を実施！



駐車や検温等、訓練手順に沿って



第3次避難。無言で屋上へ

矢本二中との合同引き渡し訓練（6/18）は、初めての試みでした。二中に兄弟がいるご家庭は先に二中で引き渡しを行ったせいか、混み合う様子が見られませんでした。（写真左）保護者の皆様のご協力に感謝いたします。また地震津波避難訓練（6/7）では、津波被害を想定して1・2年生が屋上へ避難する練習をしました。最近地震が多いせいか、真剣な参加態度に終始していました。（写真右）



「小中2の日あいさつ運動」&「あかいつ子全校あいさつ運動」



先輩の立派な姿に感激！

5月28日（金）に小中合同2の日あいさつ運動が本校校門で行われました。赤井小からは運営委員会の子供たち、矢本二中からは赤井小卒業生（齋藤・佐藤・遠藤・阿部さん）の生徒たちが登校するあかいつ子へ挨拶を行いました。体の大きい中学生の挨拶に驚く1・2年生もいましたが、中学生のマスク越しの笑顔と優しさ溢れる振る舞いを見て、元気に挨拶をしていました。中学生はあいさつ運動後、自転車で二中へ向かいました。朝の忙しい時間に早く赤井小へ来てくれた先輩の思いに、赤井小の『あ』あたたかくが感じられました。（写真上）



1~6年全員で全校あいさつ運動

また、合同あいさつ運動とは別に、児童が輪番で昇降口において朝のあいさつ運動をしています。6年生から始まって、毎日5・6名が東西の昇降口であいさつをしています。現在、2年生が取り組んでおり、今後（2学期）は、1年生に順番が回っていきます。ある児童が「自分があいさつをした時に、あいさつが返されないと寂しい。」と素直に小職に話をしてくれました。きっとこの児童は自分から進んであいさつをする大人になるのだろうと成長を予感させました。「あいさつ」「清掃」「ゴミ拾い」、そして「デジタルメディア・コントロール」の『心あったかイートころ運動』で、益々「心のあたまる」赤井地区になりますように！



英語の絵本やゲームをいただきました！



寄贈式はTV局2社と新聞社2社が校長室で取材

テレビや新聞で報道されましたが、マサチューセッツ州（米国）のヴィンセント・ゴールデンさんから英語の絵本（100冊）やゲーム等（12セット）をいただきました。贈呈式では代表の6年生（木村悠太さん・亀川田海音さん）が感謝の言葉を述べました。この寄贈ではテイラー・リーダーズ・プロジェクトの佐々木代表が架け橋になっていただきました。絵本は、外国語指導教室で自由に読めるようにしております。



運動会が終了して、大きな目標が無くなり、それぞれの学年が新しい目標を立てる時期です。大きな目標が無くなると、小さいトラブルが発生してきます。「悪口を言われた。」「けんかをした。」または、忘れものが多くなったり、廊下の疾走が見られたり。ハインリッヒの法則(1件の重大事故の裏には29件の軽い事故、さらにその裏には「ヒヤリ」「ハット」する事例が300件ある)を参考として、小さな「ヒヤリとすること」「ハットすること」を無くし、子供たちが大きな事故や事件が遭わないように、小職より「いじめ」について投げ掛けました。

おはようございます。運動会が終わりました。校長先生は素晴らしい運動会だったと思いました。素晴らしかったことを3つ話します。一つは、5月の朝会でお話した松山英樹選手のように、目標を立て、目標に向かって最後まで努力したことです。二つ目は、友達や他の学年の徒競走や団体競技、和太鼓演奏の頑張りを自分のことのように「がんばれ」と応援したことです。三つ目は、皆さんのご家族の素晴らしかったことです。それは雨で校庭がぐちゃぐちゃになりましたが、皆さんのご家族が、水を取ったり砂をまいたりして、校庭を運動会ができるように進んで作業をしてくれたことです。5・6年生も校庭の水取りで頑張ってくれました。ありがとうございました。

4月の始業式で校長先生は赤井小学校の目指す児童像を3つ話しました。「あ」あたたかく、「か」かしこく、「い」いきいきとです。この運動会で目標に向かって最後まで頑張ったので「『い』いきいきと」ができました。また、頑張っている友達を応援したので思いやりの「『あ』あたたかく」ができました。ご家族の皆さんが進んで校庭を整備してくれたことは、学校の合言葉「笑顔」のために、運動会が最後まででき、あかいつ子が「笑顔」になることを願ってしてくれたのです。



リモートで話を静かに聞く児童

この運動会では、4月に校長先生がみんなで頑張ろうと伝えた目標や合言葉が達成された行事になりました。ぜひこれからもレベルアップした一人ひとりの力や学級や全校の力を更に高めていきましょう。



さて、4月の校長先生のお話の中でこんな話もしました。「長い一年の間に、友達とけんかをしたり、勉強で間違ったり、いろいろな失敗したりすることもあります。間違ったり失敗したりしても、笑顔で許し合う「あかいつ子」になってください。

人は失敗から学び、失敗から成長します。失敗が許される学級を作りましょう。そして、いじわるやいじめを絶対に許さない人になって下さい。赤井小からいじめは絶対に起こしません。」と話をしました。

学校が始まって2か月が過ぎました。振り返ってみましょう。友達の間違いや失敗を笑ったりバカにしたりしていませんか？また、いじめをしていませんか？それとも、いじめられていませんか？

もし、心配なことがある人はどの先生でもいいです。困っていることを話してください。校長先生はじめ、先生方、そして、皆さんのお父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんは絶対にいじめを許しません。そして、これからはいじめがないことを願っています。

では、世の中からいじめがなくなるように皆さんから教えてほしいことがあります。担任の先生から、あとで校長先生プリントを渡してもらいます。プリントに皆さんの考えを書いて下さい。

- 1 いじめってどんなことですか？
- 2 どうすればいじめが無くなりますか？

わからない人は、わからないでもかまいません。書いて担任の先生へ出してください。それを校長先生が全員分しっかりと読みます。

校長先生に、世の中からいじめが無くなるよい方法を教えてください。

結果は、7月の朝会でお話しします。6月も、挨拶に、学習に、運動に笑顔でがんばりましょう。以上、校長のお話を終わります。

こうちよつせんがいのり	ねん ぬまき
せかいからいじめをなくしたい。	
1	「いじめ」ってどんなことですか？
2	どうすれば、「いじめ」はなくなりますか？

小職(校長)からのプリント(下学年用)

☆明日は「時の記念日」です。時間は誰にでも平等に与えられています。一日、一ヶ月等の過ごし方を改めて考える機会にしたいですね。
 ☆3日の不審者情報に合わせて警察と連携してパトロールに取り組んでいます。また、遊具点検を徹底して未然の事故防止に努めています。
 【前号から校長室だよりを紙だけではなくメールでもお届けしています。現在、メールでの文書送付の課題の有無を検証しております。】